

## 中学校技術・家庭科

### 第17回千葉県中学生創造ものづくり教育フェア 「豊かな生活を創るアイデアバッグ」コンクール開催要項

1. 目的  
○中学校技術・家庭科で学習した内容を生かした被服作品等の設計・製作を通して、ものをつくる喜びや仲間と競技をする喜びを味わう機会とする。  
○自分や家族の生活をより豊かにするために、個性や工夫を生かした製作の目的を明確にすることにより、製作や活用の喜びを味わう機会とする。  
○製作を通して、ものを大切に作る心や成就感、自分や家族の生活を豊かにすることの大切さを実感する機会とする。
- 2 主催団体等  
主催：関東甲信越地区中学校技術・家庭科研究会  
千葉県教育研究会 千葉県教育研究会技術・家庭科研究会  
共催：千葉県教育委員会 千葉市教育委員会  
千葉県木材振興協会 千葉県技術・家庭教育振興会  
後援：千葉県 千葉県中学校校長会 公益財団法人千葉県学校給食会  
(株)千葉日報社 千葉テレビ放送 NHK千葉放送局  
協賛：蛇の目マシン工業株式会社 山崎教育システム(株) 東京ガス(株)千葉支社  
キッコーマン(株) 開隆堂出版(株) 東京書籍(株)
3. 会 期 令和3年10月6日(水)第1次審査会  
※第2次審査会へ出場する7名を選出する。  
令和3年11月13日(土) 第2次審査会
4. 会 場 Zoomを使ったオンライン開催  
(本部は、千葉県総合教育センター 〒261-0014 千葉市美浜区若葉2-13)
5. 日 程 令和3年11月13日(土)  
AM オンライン開会式、作品審査、オンラインプレゼンテーション発表・質疑応答、  
総合審査(結果集計)  
PM オンライン閉会式(結果発表)
6. 参加費 一人 500円  
※各支部理事または事務局長に9月30日(木)までに支払うこと。
7. 課題および課題製作上の注意  
①課題について 『バッグ(ショルダーバッグ、トートバッグ、リュックサックなど)』とする。  
②使用する布について  
・バッグ本体の全部または一部に、家庭にある自分または、家族の衣服を用いる。その他、衣服以外の布等を使ってもよい。

### ③バッグのデザイン・機能について

- ・衣服の一部をそのままの形で1つ以上活用する。  
(例えばポケットやボタン等をそのまま利用するなど)
- ・裏地は付けず、一重仕立てとする。
- ・立体構成にする。
- ・『バッグ』の口がふさがるようにする。(中身のでない工夫をする)

### ④縫製について

- ・入れるものの使用目的に合わせて強度が耐えうる布目の方向、縫い目および縫い代の始末をする。
- ・ポケットは必ず1つ以上つける。(衣服のポケットを再利用しても、自分で作成してもよい)
- ・バッグのいずれかの部分にまつり縫いを取り入れる。
- ・スナップは1つ以上つける。
- ・3時間程度で製作できる作品とする。

### ⑤材料費は2,000円程度とする。

### ⑥レポートについて

- ・レポートには、「テーマ」「構想」「自分や家族の生活を豊かにする視点」「私にとってのものづくりの視点」についてと「衣服の再利用の工夫(どの部分をどのように活用するか)」の理由を明記すること。
- ・まつり縫い、スナップを取り入れた部分を明記すること(朱書き)。
- ・再利用した衣服の全体像(解体前)を、写真またはイラストで表す。

### ⑦プレゼンテーションについて

- ・当日は、Zoomにて「製作した『バッグ』について、3分以内の発表を行う。その際、利用方法、「自分や家族の生活を豊かにする視点」「私にとってのものづくりの視点」「衣服の再利用の工夫の視点」などについて発表をする。
- ・プレゼンテーション後、審査員から作品や製作について2分程度の質疑応答を行う。
- ・プレゼンテーションの方法は、Zoomでできること全てを認める。

## 8. 審査項目

レポート	記述内容	「自分や家族における課題」「解決方法(衣服等の再利用を含む)」「期待される効果」「製作工程」「型紙の配置」「まつり縫い・スナップを取り入れた部分」を具体的に記述しているか。
縫製	縫い代の幅と始末の仕方	布やバッグの部位に応じて、適切な幅であるか、縫い代を適切に始末しているか。
	ミシン縫い	バッグの部位に応じて、縫い目の大きさや強度が保たれる工夫をしているか。
	手縫い(まつり縫い、スナップ)	まつり縫いが適切にできているか。 スナップを適切に付けているか。
	出来栄え	作品の出来栄えはどうであるか。

発表	発表内容	実際に入れるものを使い、テーマで意図したことを3つの視点から具体的に説明しているか。 「自分や家族における課題」 「解決方法（衣服等の再利用を含む）」 「期待される効果」 3分以内の発表と2分程度の質疑応答を行う。
衣服の再利用	デザイン及び機能性	衣服の一部の利用は、テーマに応じたデザインになっているか。 衣服の一部の利用は、テーマに応じた機能を満たしているか。 使う人の立場に立った工夫がなされているか。

## 9. 参加申込

(1) 申込先 各支部理事 もしくは各支部事務局

(2) 申込方法

所定の用紙に必要事項を記入し、学校長の承認を経て申し込む。

① 参加申込書（応諾書）・・・9月30日（木）まで

※用紙は：千教研 web ページ <http://www.ajgika.ne.jp/~gikachiba/>よりダウンロード

(3) 製作レポート提出について

① 9月30日（木）必着で「製作レポート」を下記担当まで郵送する。

（製作レポートは規定の用紙を用いることとし、必ずペン書き（鉛筆不可）（色も付ける）をして、A4版で提出する）

② 第2次審査会へ出場決定の連絡は10月8日（金）までに各学校担当者にFAX連絡をする。

(4) 作品の提出について

① 第2次審査出場者は、10月29日（金）必着で、作品を下記担当まで郵送する。

② 審査後、作品等を返却するための「着払い伝票」も同封する。

(5) 日程

令和3年	9月30日（木）	参加申込（応諾書）締め切り （提出先：支部理事 or 支部事務局へ） 製作レポート送付期限 （提出先：松戸市立第一中学校 船迫千春宛）
	10月6日（水）	第1次審査
	10月8日（金）	学校を通じて本人に審査結果を連絡
	10月29日（金）	作品、着払い伝票送付期限 （提出先：松戸市立第一中学校 船迫千春宛）
	11月13日（土）	第2次審査

(6) レポート・作品等提出先

松戸市立第一中学校 教諭 船迫 千春 宛  
〒271-0076 松戸市岩瀬587 TEL047-363-4171 fax 047-364-2655

## 10. その他

- (1) 出場数に制限はないので、千葉県内の中学生であれば、誰でもエントリーすることができる。
- (2) 第2次審査の上位入賞者3名は賞状と賞品を授与する。
- (3) 県大会で上位2名は、関東甲信越大会への出場権を得る。
- (4) **開催要項に変更がありましたら、随時内容を更新させていただきます。定期的にwebページを確認するようにしてください。**

※ 本コンクールに関わる諸連絡、質問等の連絡先

千葉市立葛城中学校      教諭 迎 寿美 〒260-0853      千葉市中央区葛城2-9-1      TEL043-227-5566      fax 043-227-0396
---

※ 今年度、全日中創造ものづくり教育フェアに準じて、要項を大幅に変えましたので、漏れ落ちのないよう、準備してください。